

元 CIA 職員の告白が 9・11 の公式物語を最終的に爆破

【訳者注】こんなことは今更「爆破」などしなくても、わかっていることだと思ったが、多くの反体制サイトが取り上げているので、訳してみた。するとその意味がわかった。この元 CIA エージェントは、あの笑えてくるほどに見事な、「ビルディング 7」の“解体”を担当した技術者である。これは誰が見ても、専門家のビル解体にしか見えないのだが、やはりその証拠が直接、それを担当した人の手記の形で存在することは、重要なことである。専門的な詳細のほかに、彼が最初、純粋に国家を信じたこと。絶対に失敗のできない仕事を見事にやり遂げたときのチームの大歓喜。しかし次の瞬間、見事すぎることで失敗であったと気づいたときの恐怖。そして更にイギリスの BBC 放送が、まだ建っているこのビルを、過去形で崩壊したと放送したときの絶望。そしてこれを、死までの残り数週の時間を使って、告白せずにはおれなかったこと——これは人の心に、9・11 ドラマの一つとして、いつまでも残るであろう。

State of the Nation

July 14, 2017

TMR 編集者注：

ある CIA エージェントが完全に躊躇を捨てて、死の床で、爆発的な告白をしたようである。CIA のビル解体の専門家がこの建物を爆破したのだった。CIA エージェントの Malcolm Howard はその一人だったかもしれない。

次に引用紹介する驚愕すべき告白は、強い放射能をもつから、もしそれが本当なら、米連邦政府を現実に指令する、少数支配体制の影の政府を、確実に引き下ろすであろう。我々は、この報告が最初に発表されて以来、真偽を確かめようとして、うまく行かなかった。

しかし 9・11 の真実の水門は、ゆっくりと開かれつつある。そしてそれは、この“インターネット時代”において止めることができない。CIA (および MI 6 と MOSSAD) が、米政府内部の、他の活動家や、ならず者たちを含めて、9・11 の犯行者である。つぎの資料をご覧ください——「9・11 の事実：ペンタゴンは、米軍兵器庫のクルーズ・ミサイルを使って攻撃された」<http://themillenniumreport.com/2014/09/911-fact-the-pentagon-was-hit-by-a-cruise-missile-from-the-us-military-arsenal/>

9・11 という“内部仕事”は、下のリンクの写真で証明されるように、核を用いたものでもあった——「9・11 真実は核攻撃だった：大規模なダウンロードが進行中」

<http://stateofthenation2012.com/?p=7858>

大量のロシアのデータが存在することも、忘れないでおこう。次のような——

「9・11：ロシアは、米、英、およびイスラエル共同陰謀団に対して証拠を提出する」

<http://themillenniumreport.com/2014/07/911-russia-presents-evidence-against-us-uk-and-israel-co-conspirators/>

The Millennium Report, July 14, 2017

<http://themillenniumreport.com/2017/07/deathbed-confession-cia-agent-admits-to-executing-controlled-demolition-of-building-7/>

N.B. もし次の報告が、*YourNewsWire.com* によってねつ造されたものと判明しても、これは真実から、おそらくあまり遠くない説明であろう。しかし、もしこれが本当にフェイク・ニュースなら、この代替メディアはニュース・ソースとして、再び信用されなくなる。

CIA エージェントが死の床で告白：9月11日に WTC 7 を 爆破したのは我々だ



By Baxter Dmitry
YourNewsWire.com

79歳の退職したCIAエージェント Malcolm Howard が、金曜日に、ニュージャージーの病院から、あと数週しか生きられないと告げられて退院して以来、一連の驚くべき主張をしている。ハワード氏は、9・11で破壊された第3のビル、WTC 7の“解体”(controlled demolition)に関わっていたと言っている。

36年間、実働者としてCIAで働いてきたハワード氏は、彼が工学的な経歴をもち、ビル解体の仕事をしたことがあるという理由で、CIA エージェントの上司から、このプロジェクトの仕事をしてほしいと言われたという。

民間のエンジニアとして訓練されてきたハワード氏は、1980年代初めに、CIAから引き抜かれた後、爆発物の専門家になった。ハワード氏は、小はタバコのライターから、大は「80階のビル」に至る、あらゆる対象に爆発物を仕掛ける、幅広い経験をもっていると言う。

この79歳のニュージャージー人は、彼らが“New Century”と名付けたCIAの作戦に参加して、1997年5月から2001年9月まで働いていたが、その期間は、彼の言うところによると、CIAが「まだトップから命令を受けていた」時期だった。ハワード氏は、4人で作る実働部隊の細胞の一部であり、解体が確実に成功する責任を負わされていた、と言っている。

ハワード氏は、世界貿易センター・ビルディング7の作戦は、彼の手掛けた解体の中でも例のないもので、それは「我々が解体作業でないかのように見せかけなければならない」唯一の仕事だったと言っている。彼は、その当時、この人を騙す仕事をするに何の疑問も持たなかった、なぜなら、「人は愛国者であるならば、CIAやホワイトハウスの動機づけを疑ったりしないからだ。より大きな目的があり、それはより大きな善のためだ、と人は考える。彼らは、私のような善良で忠実な人間を選んだのだ、私は考えた。下劣な話を聞くと私は今でも胸が痛む。」

「ジョン・ケリーが、WTC 7は解体による崩落だったと認める」

<http://yournewswire.com/john-kerry-wtc7-controlled-demolition/>

しかしその彼さえ、過去を振り返ってみて、「何かが間違っていた」ことを認めている。

「何もよいことが、ここから生じていない。これは我々が考えていたアメリカとは違う。」

<https://youtu.be/Mamvq7LWqRU> (ビルディング7崩壊の30秒フィルム)

このビルがどのように崩壊したかを説明して、ハワード氏は言った——「これは爆薬を使った古典的な解体だった。我々は、超微粒子の高級な、軍用のナノテルミット (nanothermite) 混合物を、爆薬として用いた。難しかったのは、何千ポンドという爆薬、導火線や発火装置を、あまり怪しまれることなく、建物に組み込むことだった。しかしビル7の、ほとんどすべてのオフィスが、CIA など秘密部局、または軍の借りているものだったことから、仕事はやり易かった。 <http://www.cbsnews.com/news/report-cia-lost-office-in-wtc/>

ハワード氏は、WTC7には、アメリカの歴史を変えたその日に至る1か月をかけて、その「戦略的な要所に爆薬を仕掛けた」と説明している。9月11日、南北の塔が焼けている間に、WTC7の各導火線が発火し、ナノテルミットの爆発が、まず建物を空にし、鉄鋼の構造を破壊し、補強材を取り除いてしまった。そしてオフィスの火災が建物の残りの部分を引き裂いて、それを貝殻のようにしてしまった。

WTC7は、午後5時20分、WTC1と2の破壊の7時間後に、それが立っていた場所に崩落した。このビルは、自由落下のスピードで落下したことによって、目撃者に強い衝撃を与えた。それは落下の過程に、何の抵抗もないことを示していた。

ハワード氏とその同僚たちは、見事に仕事をやり遂げたのだった。

「ビルが崩落するとき、それはすごいスピードだった。あらゆるものが正確に計画通りにいった。とても滑らかだった。人は全員、建物から出ていて、WTC7では誰も負傷さえしなかった。我々は祝い合った。我々は解体のリプレイを何度も繰り返し眺めた。我々はウィスキーや葉巻を空にしてしまった。そして次に突然、奇妙なことが起こった。我々は、それがちよっとうまく行きすぎたように見えることが、心配になってきた。そして、テープを繰り返し、繰り返し見ているうちに、恐怖症状が襲ってきた。それは解体仕事のように見えた。しまった、これでは人々が疑問に思うだろう、と思った。そのうちに、午後の間に爆発音を聞いたと、人々が通りで言い合っているのが聞こえてきた。BBCが報道をしくじって、この建物が、実際に崩壊したより、20分前に崩壊したように、世界に向かってアナウンスしたとき——その時点で、この仕事はオジャンになったと、我々は本当に思った。」

<http://yournewswire.com/911-bbc-report-collapse-of-wtc7-26-minutes-too-early/>

<https://youtu.be/lP2t9nq9fI>

(強化バージョン：WTC7が、実際より前に崩壊したとニュース報道される)

政府による9・11公式報告によれば、WTC7は“コントロールできない火災” (uncontrolled fires) によって崩壊したもので、それは、旅客機に当たった、WTC1と2の上空を浮遊す

る破片によって起こったものだ。もし公式物語が本当なら、WBC7 は、コントロールできない火災によって崩壊した、世界で最初の高層建築になるだろう。しかも“オフィス火災”によって自分自身の足場に崩壊した、世界で初めての、唯一の鉄鋼高層建築である。

<http://yournewswire.com/911-study-fires-wtc7-collapse/>

<https://www.nist.gov/el/faqs-nist-wtc-7-investigation>

https://youtu.be/_A9X_8flGeM (9・11の世界貿易センター：爆発の音)

ハワード氏とその同僚は、一般大衆が公的物語のウソを見抜いて、政府に対して立ち上がり、真実を要求することを怖れた。

「うやむやになったことが、あまりにも多かった。放置された証明があまりに多かった。我々は、民衆がそのことに執拗な態度を取るだろうと思った。メディアが無視できないような、民衆の蜂起が起こるだろうと思った。彼らはお金を集めて調査団を作り、なぜ自分たちが嘘をつかれるのか、その理由を教えよと要求すると思った。我々は、彼らが、ビルディング7が爆破されたことを証明する化学混合物を、そのあたりを見つけようとするだろうと思った。

「我々は革命が起こるだろうと思った。それは上に遡って、ブッシュ大統領にまで至るだろう——彼は、ホワイトハウスから引きずり出されるだろう、と思った。

「しかし、そういうことは何も起こらなかった。ほとんど誰も、何も質問しなかった。メディアは、彼らが言われているどんなことでも、あえて質問する者を誰でも射殺した。」

フォロー・ザ・マネー

ハワード氏は、世界貿易センターの北と南の塔の破壊について、「何の直接の知識も」持たないと主張し、「CIAの作戦は非常に特殊」で、彼らは、大きな計画の下で仕事をしながら、謎のほんの小さな一片しか理解しないのが普通だと言っている。

しかし彼は、この謎全体を理解しようとして、歴史上アメリカの国土で起こった、この最も破壊的な攻撃の背後に、誰がいるのかの問題を解こうとする調査研究者に、アドバイスをすることはできると言っている。

「何かの背後に誰がいるのかを見つけるには、カネの経路を知ることだ。9・11の直前になされた取引を調べるのがよい。その者たちが、何が起こるか知っていた連中だ。CIA エージェ

ントや政府高官の息子たち。アメリカで最も力をもつ者たちの近い親戚。チェイニーやラムズフェルドは、急に金持ちになった連中だ。建設ビジネスや戦争や、その派生物によって、彼らの友人たちに与えられる契約金だけではない。」

「それはインサイダー取引だった。」

英、仏、独、イタリア、日本、それにモナコを含め、多くの国が、9・11 攻撃のあった後で、インサイダー取引の調査を始めた。そこには、もしアルカーイダ工作員が株式市場で儲けていると証明できれば、テロ組織が攻撃の背後にあると証明できるだろう。

そして、すべての証拠は、9・11 をめぐる ヘビー級インサイダー取引 を、指し示していた。
<http://www.globalresearch.ca/9-11-attacks-criminal-foreknowledge-and-insider-trading-lead-directly-to-the-cia-s-highest-ranks/32323>

イタリア外相 **Antonio Martino** はこう言った——「私は国際市場の投機の背後には、テロリスト国家や組織があると思う。」ドイツの中央銀行総裁 **Ernst Welteke** は、彼の研究者たちは、「インサイダー取引のほとんど反論できない証拠がある」ことを発見した、と言った。

CNN ですら、統制者たちは、誰かが、「テロ攻撃に先立って、そこから利益を得ようとして、金融市場を操作している」という「ますます明瞭な兆候」を見ていると報道した。

ハワード氏は、誰が株式市場で、9・11 から利益を得ているかの真剣な研究がなされれば、「アメリカの少数政治体制から心臓を引き抜く」ことができると言っている。

「世界全体を握っている、ただ一つの組織がある。そしてそれは、今はっきり言いたい、アルカーイダなどでなく、そうであったこともない。」

それは CIA である。

彼の最後の数週を今、故郷で過ごしているこの 79 歳の老人は、彼の告白の後で拘束されることはないだろうと言っている。なぜなら「それをするなら、彼らは、あらゆる人を、そのようにしなければならなくなる。彼らは私を攻撃するのに、メディアを使うだけだろう。彼らは全員が、9・11 をめぐるあらゆる不都合を抑圧することで、報酬を得ている。

——以上